

学校コード F127310108269

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 大学院の設置

注1

認可

注2

千里金蘭大学大学院 看護学研究科 看護学専攻

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 金蘭会学園

令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 法人事務局 総務課

職名・氏名

電話番号 06-6872-7703

（夜間） —

e-mail houjin@cs.kinran.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

看護学研究科

＜看護学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. 既設大学等の状況	10
5. 教員組織の状況	11
6. 附帯事項等に対する履行状況等	18
7. その他全般的事項	20

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 金蘭会学園

(2) 大学名

千里金蘭大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒565-0873

大阪府吹田市藤白台5丁目25番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(シマザキ ヤスヒサ) 島崎 靖久 (平成27年4月)	—	—
学長	(シマザキ ヤスヒサ) 島崎 靖久 (平成25年10月)	—	—
研究科長	(トキ カズエ) 登喜 和江 (令和4年4月)	—	—
学科長等	—	—	—

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)
令和4年度に報告する内容 → (4)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
看護学研究科 看護学専攻 修士（看護学）	保健衛生学関係 （看護学関係）	2 年	6 人	— 人	12 人		[基礎となる学部等] 看護学部 看護学科

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	6人 (—) [—]	— (—) [—]	0倍	0倍	令和4年度開設
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	0 (0) [—]	— (—) [—]			
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	0 (0) [—]	— (—) [—]			
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	0 (0) [—]	— (—) [—]			
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	0 (0) [—]	— (—) [—]			
入学定員超過率 B/A	—		—		—		—		0				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	0 [0] 0	— [—] (—)	令和4年度開設
2年次	/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
3年次			/		/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
4年次	/						/		/		— [—] (—)	— [—] (—)	
計			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)					— [—] (—)	— [—] (—)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
令和元年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
令和2年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
令和3年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	— 人	— 人	
令和4年度	0 人	0 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	— 人	— 人	
			令和4年度	0 人	0 人	該当なし
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{\text{—}}{\text{—}} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{\text{—}}{\text{—}} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{\text{—}}{\text{—}} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{\text{—}}{\text{—}} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{\text{0}}{\text{0}} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<看護学研究科 看護学専攻>

(1) ① 授業科目表

【認可時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基盤科目	保健医療学特論	1前	2			2						1
	ヘルスプロモーション特論	1前	2			1	1					1
	医療安全特論	1後		2		1						1
	保健統計特論	1後		2								1
	医療情報特論	1後		2								1
小計(5科目)		-	4	6	0	4	1	0	0	0	0	5
共通科目	看護倫理特論	1前		2			1					1
	看護理論特論	1前		2		2						
	フィジカルアセスメント特論	1前		2			1					1
	看護管理特論	1後		2		2						
	臨床病態生理学特論	1後		2		1						2
	臨床推論特論	1後		2			1					1
	臨床薬理学特論	1後		2								1
	疫学・臨床病態特論	1後		2		1						1
小計(8科目)		-	0	16	0	5	2	0	0	0	0	7
領域科目	療養生活支援看護特論	1前・後		4		3	2					
	療養生活支援看護演習	2前		2		3	2					
	地域・家族支援看護特論	1前・後		4		4	1					
	地域・家族支援看護演習	2前		2		4	1					
小計(4科目)		-	0	12	0	7	3	0	0	0	0	0
研究科目	看護研究方法	1前		2		1						
	看護特別研究	1～2通		8		9	3					
	小計(2科目)		-	10	0	0	9	3	0	0	0	0
合計(19科目)		-	14	34	0	9	3	0	0	0	0	11

卒業要件及び履修方法

修了要件は、体系的に教育の課程を履修し、修了に必要な単位数として、「基盤科目」から必修科目2科目4単位、選択科目1科目2単位以上、「共通科目」から選択科目4科目8単位以上、「領域科目」から選択科目2科目6単位(領域科目の2領域のうち1領域を選択し、当該領域の特論科目1科目4単位と同一領域の演習科目1科目2単位を取得)、「研究科目」から必修科目2科目10単位を取得の合計30単位以上を修得するとともに、研究指導教員による研究指導を受けて、修士論文を作成し、論文審査、論文発表会及び口頭試問による最終試験に合格した者に対して「修士(看護学)」の学位を授与する。

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基盤科目	保健医療学特論(未開講)	1前	2			2						1
	ヘルスプロモーション特論(未開講)	1前	2			1	1					1
	医療安全特論(未開講)	1後		2		2						1
	保健統計特論(未開講)	1後		2								1
	医療情報特論(未開講)	1後		2								1
小計(5科目)		-	4	6	0	5	1	0	0	0	0	4
共通科目	看護倫理特論(未開講)	1前		2			1					1
	看護理論特論(未開講)	1前		2		2						
	フィジカルアセスメント特論(未開講)	1前		2			1					1
	看護管理特論(未開講)	1後		2		2						
	臨床病態生理学特論(未開講)	1後		2		1						2
	臨床推論特論(未開講)	1後		2			1					1
	臨床薬理学特論(未開講)	1後		2								1
	疫学・臨床病態特論(未開講)	1後		2		1						1
小計(8科目)		-	0	16	0	6	2	0	0	0	0	6
領域科目	療養生活支援看護特論(未開講)	1前・後		4		3	2					
	療養生活支援看護演習(未開講)	2前		2		3	2					
	地域・家族支援看護特論(未開講)	1前・後		4		4	2					
	地域・家族支援看護演習(未開講)	2前		2		4	2					
小計(4科目)		-	0	12	0	7	4	0	0	0	0	0
研究科目	看護研究方法(未開講)	1前		2		1						
	看護特別研究(未開講)	1～2通		8		10	4					
	小計(2科目)		-	10	0	0	10	4	0	0	0	0
合計(19科目)		-	14	34	0	10	4	0	0	0	0	10

卒業要件及び履修方法

修了要件は、体系的に教育の課程を履修し、修了に必要な単位数として、「基盤科目」から必修科目2科目4単位、選択科目1科目2単位以上、「共通科目」から選択科目4科目8単位以上、「領域科目」から選択科目2科目6単位(領域科目の2領域のうち1領域を選択し、当該領域の特論科目1科目4単位と同一領域の演習科目1科目2単位を取得)、「研究科目」から必修科目2科目10単位を取得の合計30単位以上を修得するとともに、研究指導教員による研究指導を受けて、修士論文を作成し、論文審査、論文発表会及び口頭試問による最終試験に合格した者に対して「修士(看護学)」の学位を授与する。

(1) ② 授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・ 講師(兼任)で就任予定であった福高 教偉を教授(専任)で新規採用したため(令和3年12月AC教員審査受審済)、「医療安全特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、兼任・兼任教員の配置「1」を削除する。
- ・ 講師(兼任)で就任予定であった福高 教偉を教授(専任)で新規採用したため、基盤科目の専任教員等の配置を「教授4」から「教授5」、兼任・兼任教員の配置を「5」から「4」に変更。
- ・ 講師(兼任)で就任予定であった福高 教偉を教授(専任)で新規採用したため、「フィジカルアセスメント特論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、兼任・兼任教員の配置「1」を削除する。
- ・ 講師(兼任)で就任予定であった福高 教偉を教授(専任)で新規採用したため、共通科目の専任教員等の配置を「教授5」から「教授6」、兼任・兼任教員の配置を「7」から「6」に変更。
- ・ 上山直美を准教授(専任)で新規採用したため(令和3年12月AC教員審査受審済)、「地域・家族支援看護特論」「地域・家族支援看護演習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更する。
- ・ 上山直美を准教授(専任)で新規採用したため、領域科目の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」に変更する。
- ・ 講師(兼任)で就任予定であった福高 教偉を教授(専任)で新規採用および上山 直美を准教授(専任)で新規採用したため、「看護特別研究」の専任教員等の配置を「教授9」から「教授10」、「准教授3」から「准教授4」、兼任・兼任教員の配置を「11」から「10」に変更する。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
4 科目	15 科目	0 科目	19 科目	科目 []	科目 []	科目 []	科目 []	変更なし

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区分		内容				備考		
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	11,816 m ²	m ²	m ²	11,816 m ²			
	運動場用地	38,667 m ²	m ²	m ²	38,667 m ²			
	小計	50,483 m ²	m ²	m ²	50,483 m ²			
	その他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合計	50,483 m ²	m ²	m ²	50,483 m ²			
(2) 校舎	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計				
	38,801.74 m ² (38,801.74 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	38,801.74 m ² (38,801.74 m ²)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	組織改編により、他部署にて補助することとなったため		
	28 室	27 室	24 室	6 室 — (補助職員 1 人)	1 室 (補助職員 1 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室数			令和4年4月専任教員2名を新規採用のため		
	看護学研究科看護学専攻		14 -2 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	図書・学術雑誌、視聴覚資料の増加分は新規購入による。 機械・器具の増加分は算出方法の誤りを補正
	看護学研究科看護学専攻	206,798 [33,774] 206,454 [33,774] (206,798 [33,774]) (206,454 [33,774])	4,018 [2,469] 3,799 [2,336] (4,018 [2,469]) (3,799 [2,336])	3,890 [2,433] 3,635 [2,300] (3,890 [2,433]) (3,635 [2,300])	844 804 (844) (804)	3,268 — (3,268) (—)	— (—)	
	計	206,798 [33,774] 206,454 [33,774] (206,798 [33,774]) (206,454 [33,774])	4,018 [2,469] 3,799 [2,336] (4,018 [2,469]) (3,799 [2,336])	3,890 [2,433] 3,635 [2,300] (3,890 [2,433]) (3,635 [2,300])	844 804 (844) (804)	3,268 — (3,268) (—)	— (—)	
(6) 図書館	面積	閲覧座席数		収納可能冊数				
	2,462 m ²	381		210,000				
(7) 体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
	1,181.30 m ²	テニスコート 5 面 ゴルフ練習場						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人当り研究費等	250千円	300千円	図書購入費	1,286千円	1,270千円	1,270千円
	共同研究費等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	3,195千円	1,000千円	1,000千円	
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		900千円	700千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常費補助金、資産運用収益等						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	千里金蘭大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
看護学部	4	90	-	360		1.10	1.11	-		大阪府吹田市藤白台5丁目25番1号	
看護学科	4	90	-	360	学士(看護学)	1.10	1.11	-	平成20	同上	
生活科学部	4	150	-	600		0.76	0.58	-		同上	
食物栄養学科	4	80	-	320	学士(栄養学)	0.76	0.65	-	平成15	同上	令和4年学生募集停止予定
児童教育学科	4	70	-	280	学士(児童学)	0.77	0.52	-	平成19	同上	令和4年学生募集停止予定
大学全体	-	180	-	960	-	0.87	0.76	-	-	同上	

大学の名称	千里金蘭大学大学院						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
看護学研究科											
看護学専攻	2	6	-	12	修士(看護学)	0.00	0.00	-	-	大阪府吹田市藤白台5丁目25番1号	
大学院全体	-	6	-	12	-	0.00	0.00	-	-	同上	

大学の名称	〇〇短期大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

(1) -②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

--

【令和2年度】

--

【令和3年度】

--

【令和4年度】

・令和4年4月1日 福嶋 教偉 教授就任。令和3年12月AC教員審査済み。 ・令和4年4月1日 上山 直美 准教授就任。令和3年12月AC教員審査済み。

- (注)
- ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
6 名	4 名	6 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
9	3	0	0	12	0	10	4	0	0	14	0
(10)	(4)	(0)	(0)	(14)	(0)						
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
6	6	0				11	3	0			
(11)	(3)	(0)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
10	4	0	0	14	0	10	4	0	0	14	0
[+1]	[+1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
11	3	0				11	3	0			
[+5]	△3	[0]				[0]	[0]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	4 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{14}{12} = \boxed{116.66} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{4}{14} = \boxed{28.57} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
		該当なし							
合計（D）				後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	#VALUE! 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目
		選択	#VALUE! 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目
		自由	#VALUE! 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
		該当なし							
合計（F）				後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	#VALUE! 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目
		選択	#VALUE! 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目
		自由	#VALUE! 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）				後任補充状況の集計（E）+（G）					
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	#VALUE! 科目	必修	##### 科目	必修	##### 科目	必修	##### 科目
		選択	#VALUE! 科目	選択	##### 科目	選択	##### 科目	選択	##### 科目
		自由	#VALUE! 科目	自由	##### 科目	自由	##### 科目	自由	##### 科目
		計	#VALUE! 科目	計	##### 科目	計	##### 科目	計	##### 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{\#REF!} = \#REF! \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	#VALUE! 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目
		選択	#VALUE! 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目
		自由	#VALUE! 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画
認可時 (令和3年)	<p>設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</p>	<p>遵守事項 設置の趣旨に掲げた学位授与の方針及び教育課程編成の方針並びに入学者の受入方針などの教育情報について、大学院案内やホームページなどで明示したうえで、学生募集活動を展開するとともに、開設年度における教育課程、教員組織、施設設備等の整備を図り、設置計画通り、看護学研究科を開設した。 また、開設時から学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的に照らした充実した教育研究活動を行うとともに、その水準を一層向上させるべく、大学院の開設に合せて、自己点検・評価及び教育内容等の改善を図るための組織的な研修等の実施にむけて、設置計画通り、規程等の施行のもとに委員会組織を立ち上げ、教学面における管理運営体制をスタートさせた。</p>	<p>履行中 引き続き、設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を履行するとともに、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的に照らし、充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めることとする。</p>
	<p>養成する人材が有すべき能力として掲げる「質の高い看護ケア」の定義について、修士課程にふさわしい専門分野における理論と応用の研究能力を包含するものであることを明確にするとともに、受験生や学生等が十分に理解できるよう、広報活動や学生募集などを通じて、学内外に対して適切に周知徹底を図ること。</p>	<p>遵守事項 養成する人材が有すべき能力として掲げる「質の高い看護ケア」の定義について、修士課程にふさわしい専門分野における理論と応用の研究能力を包含するものであることを明確にしたうえで、受験生や学生等が十分に理解できるよう、広報活動や学生募集などを通じて、学内外に対して適切に周知徹底を図った。</p>	<p>履行中 引き続き、養成する人材が有すべき能力として掲げる「質の高い看護ケア」の定義について、受験生や学生等が十分に理解できるよう、広報活動や学生募集などを通じて、学内外に対して適切に周知徹底を図ることとする。</p>
	<p>学位論文審査基準の「論文審査に係る評価基準」における「1看護学及び看護実践への貢献が高く、明らかなものであること」について、「明らかな」に対応するものが判然としないため、受審する者と審査する者の双方に誤解が生じず、厳格かつ公正な審査ができるよう、当該評価基準の記載をより明確化すること。</p>	<p>遵守事項 学位論文審査基準の「論文審査に係る評価基準」における「1看護学及び看護実践への貢献が高く、明らかなものであること」について、「明らかな」に対応するものが判然としないことから、受審する者と審査する者の双方に誤解が生じず、厳格かつ公正な審査ができるよう、当該評価基準の記載について、「1看護学及び看護実践への貢献が期待できること」に改めた。</p>	<p>履行中 学位論文審査基準の「論文審査に係る評価基準」については、「論文審査に係る評価基準」の明示に加えて、オリエンテーション及び履修ガイダンス、個別履修指導等を通じて、受審する者と審査する者の双方に誤解が生じず、厳格かつ公正な審査ができるよう、相互理解に努めることとする。</p>

<p>完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。</p>	<p>遵守事項</p>	<p>定年に関する規程により、既に定年年齢に達している者3名と完成年度までに定年年齢を迎える者1名を配置する計画としていることから、これら4名の教員に対する後任となる中堅・若手教員の採用計画を策定し、計画的な採用を行うこととしており、そのうち1名（博士の学位、大学等における教育歴、母性看護分野に関する研究業績を有する中堅の教授）については、令和3年12月のAC教員審査において教員資格審査を受審し、令和4年4月1日付けで採用を行った。 ・上山 直美（50歳） ※教員資格審査受審済み（令和3年12月）</p>	<p>履行中</p>	<p>定年に関する規程により、既に定年年齢に達している者及び完成年度までに定年年齢を迎える者に対する後任となる中堅・若手教員の採用計画に基づき、残りの3名について計画的な採用を行うこととする。</p>
<p>患者個人に対する看護ケアの質の改善・向上のみならず、地域的な課題や医療施策の推進への貢献等を期待する自治体や関係団体からのニーズ等を踏まえ、係る教育研究の更なる充実を図ることが望ましい。</p>	<p>助言事項</p>	<p>「吹田市・千里金蘭大学連携推進協議会」を通じた地域的な課題や医療施策の推進に関する意見交換等を行うと共に、関係団体からの要望を踏まえ、大学院専任教員による現職者に対する実践力向上・キャリアアップを目的とした「リカレント研修」を企画し、2022年6月より毎月1回の頻度で開催している。</p>	<p>履行中</p>	<p>引き続き、自治体及び関係団体との連携を密にし、ニーズ等の把握を行うと共に、地域的な課題や医療施策の推進にむけた教育研究体制の更なる充実を努めることとしている。</p>

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<看護学研究科 看護学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
施設・設備（大学全体での共用分を含む） 図書 206,454冊 学術雑誌 3,799種〔うち外国書 2,336種〕 うち電子ジャーナル 3,635種〔うち外国書 2,300種〕 視聴覚資料 804点 機械・器具 —	図書 206,798冊／344冊を増書 学術雑誌 4,018種／219種を増書〔うち外国書 2,469種／133種を増書〕 うち電子ジャーナル 3,890種／255種を増書〔うち外国書 2,433種／133種を増書〕 視聴覚資料 844点／40点を増加 3,268点（機械・器具の増加分は算出方法の誤りを補正）

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護学研究科FD委員会規程を制定し、当該委員会規程に基づき、看護学研究科の専任教員及び事務職員で構成される看護学研究科FD委員会を設置した。 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年6月 開催予定 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度及び令和5年度の年間計画について（予定） <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護学研究科の教育研究上の目的・養成する人材等に関する共通理解を深めるための研修会の実施（予定） 授業科目の位置付けや到達目標、他の授業科目の内容や範囲などの接続関係について教員の相互理解を図るための研修会の実施（予定） <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 研究科長による講習会及び研究科担当教員によるワークショップにより実施（予定） <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年8月 開催予定 <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修会実施後に着手予定 <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施の有無：無 実施の時期：令和5年7月（予定） <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> 本学ホームページにて公開予定
--

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的の達成にむけて、開設初年度の入学者を受入れるべく、大学院認可直後から組織的な学生募集を展開したところであるが、新興感染症の拡大による影響を大きく受けることとなり、令和4年度の入学者を確保することができなかった。

今後における入学者の確保にむけては、新興感染症下において入学者を受入れるための具体的な施策について検討したうえで、当該施策について本学の看護学部の在学生や医療現場に従事する看護職者に分かり易く伝わるよう、学生募集活動における戦略性と具体性を持って取り組むことにより、入学者の確保を図ることとしている。

教員組織の整備計画については、設置の趣旨に掲げた学位授与の方針及び教育課程編成の方針を達成するため、設置計画に基づく授業科目及び研究指導を担当する専任教員14人の採用と発令を行った。

また、施設設備の整備計画については、新規に採用する専任教員2名分の研究室(1室当り約30.19㎡)を整備するとともに、大学院生共同研究室を設け、共同研究室の設備として、デスク、ロッカー、ミーティングテーブル、コピー機などを配備した。

さらに、図書206,798冊、学術雑誌4,018種、電子ジャーナル3,890種、視聴覚資料844点及び機械・器具3,268点を備し、大学院生の研究環境の整備を整えた。

管理運営については、大学院において一定の独立性を確保し、カリキュラム等での独自の運営が可能となるよう、「看護学研究科委員会規程」を制定するとともに、「看護学研究科委員会」を設置した。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

- ・大学全体としての自己点検・評価については、令和5年2月に公表することとしている。
- ・大学院における自己点検・評価については、完成年度の翌年度の7月に公表する予定としている。

b 公表方法

- ・公表方法については、本学のホームページ上にて公表する。

③ 認証評価を受ける計画

(専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)

- ・令和6年に公益財団法人日本高等教育評価機構による大学全体としての認証評価を受審する予定である。

(注)・設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和4年度)

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表(予定)時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2~3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他()]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

千里金蘭大学大学院「看護学研究科 FD 委員会規程」

[令和3(2021)年11月4日制定]

(趣 旨)

第1条 千里金蘭大学大学院看護学研究科におけるファカルティ・ディベロップメント（授業内容、授業方法の改善や向上を図るための研究や研修などの組織的な取り組みのこと。以下「FD」という。）の推進のために、看護学研究科FD委員会（以下「本委員会」という。）を置く。

(所掌事項)

第2条 本委員会は、次に掲げる事項について審議し、その実施にあたる。

- (1) FDの企画及び実施に関すること
- (2) FDの点検・評価に関すること
- (3) FDの改善に関すること
- (4) 授業アンケートに関すること
- (5) その他、FDの推進に関すること

(組 織)

第3条 本委員会は、次に掲げる委員で組織する。

- (1) 看護学研究科長
 - (2) 看護学研究科委員のうち、研究科長が指名する者 2名
 - (3) 教学センター課長
 - (4) 看護学研究科の学生 2名以内
- 2 本委員会に委員長を置き、看護学研究科長をもって充てる。
- 3 本委員会に副委員長を置くことができる。副委員長は、委員長が指名する。

(任 期)

第4条 任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、任期中欠員が生じ、これを補充した場合の任期は、前任者の残任期間とする。

(会 議)

第5条 委員長は、会議を招集し、その議長となる。

- 2 会議は、委員の過半数が出席しなければ開催することができない。
- 3 議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代行する。

(報 告)

第6条 委員会は、必要に応じ、所掌事項に関する検討結果を看護学研究科委員会に報告する。

(委員以外の者の出席)

第7条 議長が特に必要と認めるときは、委員以外の者を会議に出席させて、意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 委員会に関する庶務は、教学センターにおいて処理する。

(規程の改廃)

第9条 この規程の改廃は、研究科委員会及び大学協議会の議を経て、学長が行う。

附 則

この規程は、令和4(2022)年4月1日から施行する。

千里金蘭大学大学院「看護学研究科委員会規程」

[令和3(2021)年11月4日制定]

(趣 旨)

第1条 千里金蘭大学大学院看護学研究科における教育研究の円滑な実施に資することを目的とし、看護学研究科委員会（以下「研究科委員会」という。）を置く。

(組 織)

第2条 研究科委員会は、授業科目を担当する専任の教員をもって組織する。

(招集及び議長)

第3条 研究科委員会は、研究科長がこれを招集し、その議長となる。

- 2 研究科長に事故あるとき又はやむを得ない事由があるときは、あらかじめ研究科長が指名した委員が、その議長となる。
- 3 研究科長は、委員の3分の1以上の要求があったときは、あらかじめ付議すべき事項を示して研究科委員会を招集する。

(議 事)

第4条 研究科委員会は、委員の3分の2以上の出席をもって成立する。

- 2 研究科委員会に書記1名を置き、研究科長がこれを委嘱する。

(審議事項)

第5条 研究科委員会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うにあたり、意見を述べるものとする。

- (1) 学生の入学、修了に関する事項
- (2) 研究指導、学位論文及び学位の授与に関する事項
- (3) 教育課程に関する事項
- (4) 学生の表彰及び懲戒に関する事項
- (5) その他、学長の諮問する事項
- (6) 前5号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、研究科委員会の意見を聴くことが必要なもの
 - ア 学術研究に関する事項
 - イ 学生の休学、退学、除籍、その他学生の身分に関する事項
 - ウ 学生の厚生補導に関する事項
 - エ 学則に関する事項
- 2 研究科委員会は、前項に規定するもののほか、研究科に関する重要な事項について審議し、学長の求めに応じ、意見を述べることができる。

(議 決)

第6条 研究科委員会の議事は、出席者の過半数の賛成をもって研究科委員会の意見とし、学長が決定するものとする。ただし、学位論文の審査においては、出席者の3分の2以上の賛成を得るものとする。

(委員会の開催)

第7条 研究科委員会は、原則として毎月1回開催するものとする。

(規程の改廃)

第8条 この規程の改廃は、研究科委員会及び大学協議会の議を経て、学長が行う。

附 則

この規程は、令和4(2022)年4月1日から施行する。